

平成29年度
(平成29年5月～平成30年4月)

環境活動レポート



平成 30年 6月 30日

三浦造園土木建設株式会社

目 次

1. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2. 認証・登録の対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・3
3. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
4. 環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
5. 環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
6. 環境活動計画とその取組結果とその評価及び次年度の取組内容・・・7.8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並び
に違反、訴訟の有無・・・・・・・・・・・・・・9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・9

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

三浦造園土木建設 株式会社
代表取締役 三浦 義孝

(2) 所在地

本社 〒813-0025
福岡県福岡市東区青葉1-19-21

圃場・資材置場 〒811-2502
福岡県粕屋郡久山町大字山田字伏谷1498-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 三浦 清子(総務部長)
担当者 内河内 克司(工務次長)

電話 092-691-1439
FAX 092-691-1489
ホームページ <http://www.miurazoen.com>
E-mail miura-z@sapphire.bforth.com

(4) 事業内容

造園・ガーデニング、公園の工事・管理、土木工事の企画・設計・施工
スポーツ施設に関する企画・調査・設計

(5) 事業規模

年度		27年	28年	29年
売上額	千円	379,123	361,304	358,492
従業員	人	15	14	15
のべ床面積				
本社	m ²	75	75	150
倉庫	m ²	16	16	16
圃場	m ²	495	495	495

(6) 事業年度

5月1日～翌年4月30日

2. 認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 本社、資材置場・圃場
(2) 事業活動 造園・土木・とび土工工事業

3. 環 境 方 針

三浦造園土木建設株式会社は、建設業の活動を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減します。

- 1 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の取り組みを行う。
 - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努めて燃料を削減し、二酸化炭素の排出量を削減する。
 - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 雨水の利用や節水により水使用量を削減する。
 - (4) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の最終処分量を削減する。産業廃棄物リサイクル率96%を目指す。
 - (5) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材は可能な限り再生品を使用する。
 - (6) 化学物質が含まれる消毒薬、工事資材などの使用量を削減する。
- 2 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
- 3 環境に配慮した施工を心掛け、省エネ型建築物を提案する。
- 4 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
- 5 環境活動レポートを作成して公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。

平成23年 10月20日

三浦造園土木建設株式会社

代表取締役社長 三浦 義孝

4. 平成29年度 環境目標

平成26年度の実績を基に以下の環境目標に取り組みます。

環境目標項目	サイト区分	単位	基準年			単年度目標	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	155,203	153,651 (-1%)	152,099 (-2%)	148,995 (-3%)	
	事務所	kg-CO ₂	61,055	60,444 (-1%)	59,840 (-2%)	59,242 (-3%)	
	建設現場	kg-CO ₂	94,148	93,207 (-1%)	92,274 (-2%)	91,352 (-3%)	
①	電気使用量の削減	事務所	Kwh	6,621	6,555 (-1%)	6,489 (-2%)	6,424 (-3%)
②	ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	12,103	11,982 (-1%)	11,862 (-2%)	11,744 (-3%)
		建設現場	ℓ	1,116	1,105 (-1%)	1,094 (-2%)	1,083 (-3%)
③	軽油使用量の削減	事務所	ℓ	6,866	6,797 (-1%)	6,729 (-2%)	6,662 (-3%)
		建設現場	ℓ	35,350	34,997 (-1%)	34,647 (-2%)	34,300 (-3%)
④	ガス使用量の削減	事務所	kg	181	179.19 (-1%)	177.40 (-2%)	175.62 (-3%)
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.24	0.2376 (-1%)	0.235 (-1%)	0.233 (-3%)
		剪定・アオハ公園	%	100	100	100.00	100.00
	産業廃棄物リサイクル率維持	建設現場 (産廃コンクリート)	%	100	100	100	100
	水道使用量の削減	事務所	m ³	145	143.55 (-1%)	142.11 (-2%)	140.69 (-3%)
	化学物質の適正管理	事務所	ℓ	0.5	0.5	0.5	0.5
	グリーン購入の推進	事務所	品目数	1品目以上	5品目以上	10品目以上	15品目以上
	事業活動における環境への配慮	建設現場	品目数	1現場以上	1現場以上	1現場以上	1現場以上

5. 環境目標の実績

環境目標に対する実績は以下の通りです

環境目標項目	サイト 区分	単位	基準年	単年度目標 平成29年度			評価	
			平成26年度	目標	実績	達成状況		
二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	155,203	148,995 (-3%)	74,605	○	事務所・現場ともに 目標を達成できた	
	事務所	kg-CO2	61,055	59,242 (-3%)	41,135	○		
	建設現場	kg-CO2	94,148	91,352 (-3%)	33,470	○		
①	電気使用量の削減	事務所	kWh	6,621	6,424 (-3%)	8,982	×	電気使用量とガソリン 使用量が目標を達成 できなかった
②	ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	12,103	11,744 (-3%)	8,218	○	
		建設現場	ℓ	1,116	1,083 (-3%)	5,422	×	
③	軽油使用量の削減	事務所	ℓ	6,866	6,662 (-3%)	6,298	○	
		建設現場	ℓ	35,350	34,300 (-3%)	8,075	○	
④	ガス使用量の削減	事務所	kg	181	176 (-3%)	90	○	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.24	0.233 (-3%)	0.24	○	剪定ゴミの量が増えた 為目標を達成でき なかった
		剪定・アオハ公園	t	288	279.36 (-3%)	321.1	×	
	産業廃棄物排出量の削減	建設現場	t	770.5	747.39 (-3%)	198.4	○	
水道使用量の削減	事務所	m ³	145	140.69 (-3%)	179	×	達成できなかった	
化学物質の適正管理	事務所	ℓ	0.5	0.5	3.0	×	達成できなかった	
グリーン購入の推進	事務所	品目数	1品目以上	10品目以上	64品目	1品目以上	定着している	
事業活動における環境への配慮	事務所・現場	品目数	1現場以上	1現場以上	1現場以上	1現場以上	目標を達成できた	

購入電力の二酸化炭素排出係数は0.612kg-CO2/kWh(九州電力平成24年度)を使用しています。

6. 環境活動計画とその取組結果、評価及び次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

目 標		活動項目		実施状況	評価及び次年度の取組内容	
1	電気使用量の1%削減	事務所	1	社内で節電シールを貼る・継続	○	計画どおり実行された。次年度も1~5の取組を継続する。
			2	エアコン設定温度を決め、実行する	○	
			3	エアコンフィルターの清掃	○	
			4	昼休みの消灯運動	○	
			5	退出時のOA機器の主電源OFF	○	
		建設現場	1	エアコン設定温度を決め、実行する	○	計画どおり実行された。次年度も1~4の取組を継続する。
			2	昼休みの消灯運動	○	
			3	退出時のOA機器の主電源OFF	○	
4	工具利用作業の効率化による節電		○			
2	ガソリン使用量の1%削減	事務所現場	1	エコドライブの推進	○	計画どおり実行された。次年度も取組を継続する。
3	軽油使用量の1%削減	事務所現場	1	トラックのエコドライブ推進	○	計画どおりに実行された。次年度もこの取り組みを継続する。
			2	重機運転における省エネ		
4	ガス使用量の削減	事務所	温水使用の制限		○	計画どおり実行された。次年度も取組を継続する。

2. ①廃棄物排出量（一般廃棄物）の削減

目 標		活動項目		実施状況	評価及び次年度の取組内容
1	可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の把握	1	燃えるゴミ、不燃物、リサイクル品の分別	○	一般ごみ、コピー用紙とも、使用量は減少した。継続して取り組む。
		2	コピー用紙使用料の削減	○	

2. ②産業廃棄物の削減

目 標		活動項目		実施状況	評価及び次年度の取組内容	
1	産業廃棄物の排出量削減	内河内	1	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	○	目標は達成できている。継続して取り組む。
			2	現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実にし、責任者に報告する	○	
			3	産業廃棄物の適正処理を確認する	○	

3. 事務所の水使用量の1%削減

目 標		活動項目		実施状況	評価及び次年度の取組内容	
1	節水活動	三浦	1	節水シールの貼り付け	○	前年、前々年度より、使用量が減った。
			2	節水活動の推進	○	

4. 化学物質の1%削減

目標		活動項目	実施状況	管理状況は適正であるが、記録をわすれることがあった。
1	使用量の削減・ 薬剤管理	大石	使用薬剤の管理（除草剤・殺虫剤）、頻度を記録	

5. グリーン購入

目標		活動項目	実施状況	目標は達成できた。来年度も取組を継続する。
1	グリーン購入法適用商品の購入	田中	事務用品購入時に優先的にグリーン商品を選ぶ	

6. 事業活動における環境配慮・地域貢献活動

目標		活動項目	実施状況	計画どおりに実行できた。次年度も継続して取組む。	
1	環境に配慮したサービスの提案	大石	環境に配慮した造園、庭園管理、工事の営業を行う		○
2	環境に配慮した機器の使用	大石	低音騒音建設機械、排出ガス適合車使用		○
3	事業所・現場周辺の清掃	大石	週に一度社員全員で清掃活動をする	○	

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次の通りである。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
水質汚濁防止法	建設現場での河川、池等への不法排出規制
フロン排出抑制法	フロンの漏えいの早期発見と防止の為に社内定期点検の実施
毒物・劇物取締法	毒物・劇物の保管・管理・盗難・漏洩の防止
労働安全衛生法	労働者の健康管理、健康診断の実施

29年5月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価して結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 評価

社会的な目標である、二酸化炭素排出量の削減は達成できているが、水道使用量や剪定ゴミの量、消毒液の量が増えている。この理由は工事、管理内容に左右されるため、日々の作業との関連を十分に確認して行います。

グリーン購入法適用の商品を購入するところは、通常化して目標を達成出来ています。目標値の達成が出来ているところもより削減できるように実施していきます。

(2) 見直し

本社事務所の延床面積が倍増したことにより、電気、水道使用量が増加しているため基準値の見直しをする必要があります。

1.5割増しの基準値で行って今の状況に合わせて確認していきます。

一般ごみのリサイクル資源化は、十分機能しているが人員増のため増えています。基準値を人員の比率で上げていきたいと考えています。